

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令計画など	次世代育成支援対策法 鳴門市次世代育成支援対策行動計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	17年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なるど			終期	未定
(小項目)	児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	3	子育て家庭への支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内において「育児の援助をしたい人」と「育児の援助を受けたい人」を会員として登録し、育児の相互援助を行う。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	依頼会員と提供会員、両方会員のそれぞれの役割や理解を得て地域における子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)	640	690	780	780	780	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	ファミリーサポートセンター事業を財団法人福祉ネットワークに委託をし実施した。市広報、市のホームページに掲載、市内保育所・幼稚園・小学校・児童クラブにポスターの掲示をしたり、乳幼児医療助成事業の申請時にリーフレットなどの配布をおこなった。ファミリーサポートセンターの主催の交流会の開催に市民の方に広く参加していただき、市民への周知と会員増加の推進をした。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	1,763	2,520	2,550	2,550	2,550	件
	2	交流会	2	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)		711	771	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			111.7	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		8,800	8,800	9,052	9,052	9,052	千円
	財源内訳	国	2,380	0	2,380	2,380	2,380	
		県	0	2,380	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	6,420	6,420	6,672	6,672	6,672	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		65	652	652	652	652		
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,865	9,452	9,704	9,704	9,704	千円	

【事務事業名：ファミリーサポートセンター事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	ファミリーサポートセンター事業を財団法人福祉ネットワークに委託をし実施した。事業の広報の方法として、市広報、市の公式ウェブサイトや市内保育所・幼稚園・小学校・児童クラブにポスターの掲示をしたり、また乳幼児医療助成事業の申請時にリーフレットなどの配布を行っている。ファミリーサポートセンターの主催の交流会等にも多く市民の方に広く参加していただき、市民への周知と会員増加の推進をはかる。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	保護者が安心して働くために子育てを支援していくことは必要性が高い。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	会員数も活動件数も年々増加をし、多くの市民から必要とされている事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	委託先は県内6か所のファミリーサポートセンターを運営している事業所である。委託料のほとんどが人件費である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				